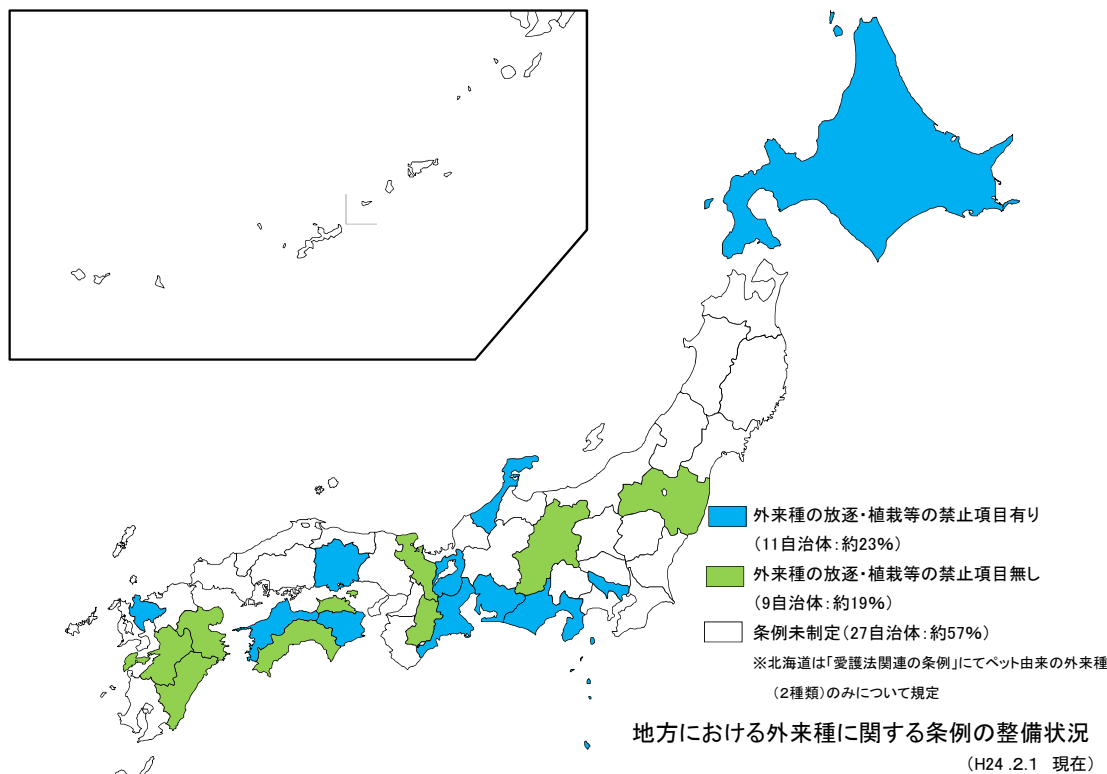


## 9 各主体における外来種対策の現状と課題

### (1) 地方公共団体の条例による外来種の放出等の規制

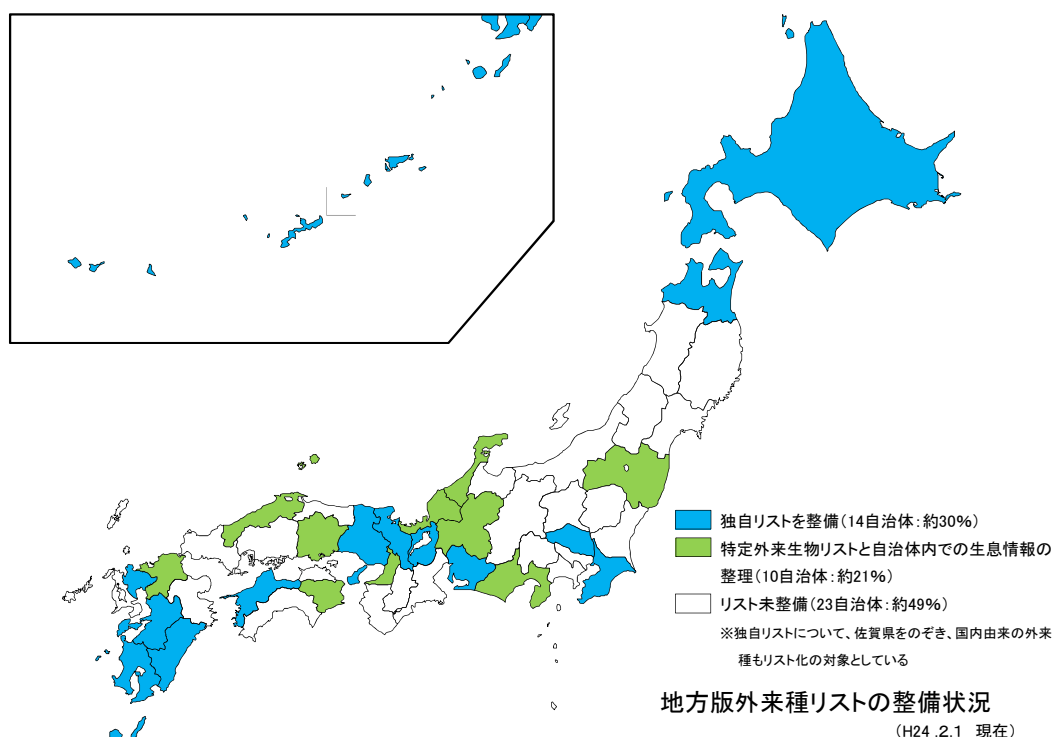
(平成23年度に都道府県にアンケートを行い作成)



## 9 各主体における外来種対策の現状と課題

### (2) 地方公共団体が独自に作成した外来種リストの策定状況

(平成23年度に都道府県にアンケートを行い作成)



## 9 各主体における外来種対策の現状と課題

### (3) 動物園・水族館による外来種対策への協力の可能性 (平成22年度 動物園・水族館へのアンケート調査結果より)

種類名	動物園	水族館
哺乳類		
アカゲザル	4	0
アキンスジカ属	3	0
アメリカミンク	1	0
アライグマ	31	0
カニクイザル	3	0
キョン	8	0
シカ属	11	0
シフゾウ	3	0
シママンギース	2	0
ジャワマンギース	1	0
タイワンザル	1	0
ダマシカ属	5	0
トウブハイイロリス	2	0
ヌートリア	2	1
ハリネズミ属	2	0
フクロギツネ	2	0
両生類		
ウシガエル	2	2
オオヒキガエル	2	2

種類名	動物園	水族館
鳥類		
ガビチョウ	1	0
爬虫類		
カミツキガメ	17	11
グリーンアノール	0	1
タイワンスジオ	2	0
魚類		
オオクチバス	3	9
カダヤシ	1	5
ケツギョ	0	3
コウライケツギョ	0	2
コクチバス	0	2
ストライプトバス	0	1
チャネルキャットフィッシュ	0	4
ノーザンパイク	0	1
ブルーギル	3	8
無脊椎動物		
ウチダザリガニ	0	4
ケラクス属	0	1

#### 動物園及び水族館における 外来種問題への対処

○特定外来生物問題などを紹介するための展示  
→動物園:16、水族館:20

○外来種問題に係る職員向けの研修・勉強会  
→動物園:6、水族館:2

○外来種問題に係る一般利用者向けの研修・勉強会  
→動物園:10、水族館:9

将来的に、種の同定、駆除方法のアドバイスを行う機関へ

## 9 各主体における外来種対策の現状と課題

### (4) 外来種問題に対する企業の取り組み事例

#### ① 技術開発

- ・非殺菌方式バラスト水浄化システム
- ・オオクチバス人工産卵床の開発

#### ② 遺棄防止のためのペット等引取

- ・飼育できなかった観賞魚の引き取りシステム
- ・淡水カメ保護研究施設へのアカミミガメ等の引き取り

#### ③ 代替在来種への切り替え

- ・地域性種苗による緑化事業
- ・在来マルハナバチの受粉によるトマト栽培や栽培されたミニトマトの使用

#### ④ 生業の一環としての防除

- ・アライグマ等駆除業務
- ・ウチダザリガニの防除
- ・アカギの防除

#### ⑤ ボランティアによる防除

- ・外来植物の防除
- ・ウチダザリガニの防除

企業の取組の進展のために

- ・CSRの浸透
- ・外来種問題の重要性の理解
- ・企業イメージへの影響

## 9 各主体における外来種対策の現状と課題

(5)国、地方公共団体、企業、研究者、NGO等の民間団体、研究者、市民の役割(環境省 平成23年度 外来種防除戦略検討会のとりまとめ)

### ①国の役割

国は、我が国全体の外来種対策の司令塔として、以下の外来種対策を総合的に推進する。

・外来種に関する情報(生態学的情報、侵入状況、被害の実態等)を収集、整理し、普及

啓発を実施して防除の重要性に係る認識の向上を図るとともに、各主体が計画的、効果的、効率的に防除等が実施できるよう、全国的な観点から幅広く情報を提供する。

・外来種の生態的特性、侵入や定着状況等を踏まえ、効果的かつ効率的な防除を実施するための指針を含む、外来種の生態系等の被害を防止、抑制するための中期的な行動計画を策定する。

・防除における優先度の考え方を整理、公表し、全国的な観点から優先度の高いものについて、自ら防除を実施する。

・各防除実施主体に対しても、優先度に基づいた効果的、効率的に防除を推奨し、特に広域的な防除が必要な場合は、防除方法などの技術開発、防除方法に関するマニュアル等の作成等の技術的、資金的な支援を行うほか、多様な主体の協力、参加による連携を推進、支援して、効果的、効率的に実施できるようにする

## 9 各主体における外来種対策の現状と課題

(5)国、地方公共団体、企業、研究者、NGO等の民間団体、研究者、市民の役割(環境省 平成23年度 外来種防除戦略検討会のとりまとめ)

### ②地方公共団体の役割

地方公共団体(都道府県及び市町村)は、地域の基本的な行政サービスを担うことから、地域の生物多様性の保全、農林漁業の振興、住民の安全確保に責任を有する立場から、外来種の防除に対しても重要な役割を担う。特に、外来種は生活環境にも侵入してきていることから、地域住民の安全や財産を確保する観点からの緊急的な防除を行うほか、地域の事情に精通している地方公共団体が地域の生態系を保全するための防除の積極的な実施とその実施を後押しする生物多様性地域戦略の早期策定が期待される。また、これらの防除に当たっては、必要に応じて、NPO等の民間団体、企業、市民等の多様な主体の協力、参加による連携を推進、支援し、効果的、効率的に実施できるようにすることが必要である。

## 9 各主体における外来種対策の現状と課題

(5)国、地方公共団体、企業、研究者、NGO等の民間団体、研究者、市民の役割(環境省 平成23年度 外来種防除戦略検討会のとりまとめ)

### ③企業の役割

企業は、企業活動において外来生物被害予防三原則である「入れない、捨てない、広げない」を遵守し、企業活動に伴う非意図的な外来種の侵入が確認された場合は適切に対応するとともに、自己所有地内で侵略的な外来種を発見し、周辺の生態系に影響を及ぼす、または及ぼすおそれがある場合は、所有地を適切に管理する立場から、積極的に防除や封じ込め等を行うことが重要である。また、企業の社会的責任(CSR)を踏まえ、地域において甚大な生態系等の被害を及ぼしている侵略的な外来種については、国、地方公共団体、NPO等と連携して、積極的に防除を行う等の地域における防除の一定の役割を担うことが望ましい。

### ④NGO・NPO等の民間団体の役割

NGO・NPO等の民間団体においては、外来種の問題に長年継続して取り組む、もしくは外来種に係る専門的知見を有する団体もあり、こうした団体は、外来種の防除等を通じて地域の生物多様性の保全に大きく貢献しており、今後ますます重要な役割を果たすことが期待される。また、様々な主体と連携して、活動や支援を行い、情報共有を進めることにより、より効果的かつ効率的な防除となることが期待される。さらに、これまで防除に関わっていない団体においても、従来の活動に加え、防除等の活動にも貢献していくことが望ましい。

## 9 各主体における外来種対策の現状と課題

(5)国、地方公共団体、企業、研究者、NGO等の民間団体、研究者、市民の役割(環境省 平成23年度 外来種防除戦略検討会のとりまとめ)

### ⑤研究者の役割

研究者は、外来種の生態的特性、侵入や分布状況等を把握し、効果的な防除手法、被害予測等に関する調査研究を進めて、科学的知見を蓄積し、さらに社会に還元することにより、効果的かつ効率的な防除を推進するために必要不可欠な役割を担う。我が国の生物多様性の保全に大きく貢献しており、今後ますます重要な役割を果たすことが望ましい。

### ⑥市民の役割

市民は、外来生物被害予防三原則である「入れない、捨てない、広げない」を遵守するとともに、特に自己所有地内で侵略的な外来種を発見し、周辺の生態系に影響を及ぼす、または及ぼすおそれがあり、特に安全性を確認した上で、必要に応じて駆除、封じ込め等に努める。また、NPO・NGO等と連携して防除等の外来種の被害防止対策に参加することのほか、将来的には外来種の分布情報を確認すること等の担い手としての役割も期待される。